

## 令和元年度 事業所向け 放課後等デイサービス 評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		スペースは充分であるが、個室の数が、それを必要とする利用者（静かに落ち着いて過ごしたい利用者等）全てに足りていない。 今後、利用者用個室として使える部屋を増やすことができるように準備中。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		基準を見たしているが、より細やかな支援をするため、また、今後定員を増やしていくためにはもっと職員が増えてもよい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			今後も必要に応じて設備を整えていく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		定期的な会議の開催を行い、業務改善についての話し合いをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ内「法人概要」のページから見ることができるようになっている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行いたいと考えている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修参加を積極的に支援する制度を整え、研修参加の機会も増えている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズ課題整理のための書式変更等を通して、よりよい計画作りに努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	施設独自ものを使用。標準化されたアセスメントツールに関しては何が事業所に合っているのか等踏まえ導入に向けて検討中。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議等を通して全体で確認している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・工夫はしているが、限られた利用時間の中での課題多い。 ・プログラムを固定化することで落ち着いて過ごすことができる利用者もいるので、個別に対応していきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			夏休みにはいくつかのプログラムを立案し、保護者へのアンケートを行い、外出活動を行った。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			行っているが、集団活動への参加が苦手な利用者もいるため、参加の仕方など工夫が必要。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼を行い、記録も残している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		必要に応じて情報の共有を行っている。毎回ではない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画書に基づいた記録を心掛けている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に面談を行い、保護者の意向や課題など確認している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		行っているが、ガイドラインについては定期的な確認の必要性があると思われる。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			原則としては保護者を行うことになっているが、学校とも必要な情報共有をすることができている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケアが必要な利用者はいない。今後受け入れが可能な場合は主治医等と連携していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	利用者の大半が中・高からの利用であり、情報は主として相談支援員ともらっているため、幼稚園等との情報共有の機会はないが、必要な情報は得られている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			担当者会議への参加を通して情報の提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じて行っていきたい。
	㉖	障害のない子どもや地域と活動する機会があるか			○	散歩や公園への外出を通して、関わる機会がある。 また、今年度は、大沼高校演劇を招いての活動を行った。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会、ワーキンググループへの参加を行っている。継続したい。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	助言等行うことはあるが、ペアレント・トレーニングまでには至っていない。今後の課題。	
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。	
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	助言等行うことあるが、今後もより職員の専門性を高めて、助言や支援にあたっていきたい。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	要望あるが実施できていない。実施方法の検討など今後の課題。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情等あればマニュアルに従い誠意をもって対応していきたい。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				○	今年度会報の発行ができなかったが、ホームページの更新を積極的に行った。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○				同意書等に基づいて対応。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				絵カード等の利用を行っている。
非常時等の対応	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○	行事等特に行っていないが、見学等要望あれば随時受け入れる。(自立支援協議会や学校の見学実績あり)。
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				○	ホームページで閲覧できるようにしている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				計画に基づいて実施している。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				外部研修への参加を行い、また、その報告を全職員で確認している。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在身体拘束を必要とする利用者はいない。身体拘束が必要になった場合は関係法令等に準じて対応していく。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの情報をもとに対応しており、指示書まではもらっていない。必要に応じて行っていく。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			会議で対策等含めて確認している。